いわきと大熊、2つのふるさとの思いトマトに託して

元木　寛（もとき　ひろし）

株式会社ワンダーファーム 代表取締役

昭和51年（1976）、大熊町生まれ。
福島高専卒業後、JR東日本就職。2002年にいわきにUターンし、
義父とともに㈲とまとランドいわきを設立し、大規模ハウスによる
トマト栽培を始める。2015年㈱ワンダーファーム設立。

私たちのトマト栽培も「もうやめようか」と一時話が出たんです。
半年間は出荷できず、日々赤くなっていく果実を廃棄せざるを得ない苦しい状況。
震災と原発事故で、福島の農業全体が窮地に追い込まれました。
でも「農業をやるために東京から戻ってきたんだ、何とかしよう」と、
地震で損傷した設備を復旧させ、風評で安値ではありましたが
市場への出荷を再開しました。
さらに、震災前から構想のあった、レストランや規格外トマトを活用した
加工品の製造・販売を行う「ワンダーファーム」を2015年に設立。
地域の雇用拡大や農業の活性化につながればとの思いもありました。
ワンダーファームでの経験を経て、トマト農家として独立する若者が増えてほしい。
いわきは日照時間が長く、気候も比較的温暖なことから、
トマト栽培に適した環境。地域全体でトマトの生産量を上げていければ、
産地としての競争力も上がります。
生まれた大熊の家にはもう帰ることができません。
それでもいわき市と大熊町、2つのふるさとへの強い思いとトマトを通して、
浜通りの農業が元気になるように頑張っていきたい。

ワンダーファームのトマトハウスでは、
トマトの収穫体験もできる